

R7地域こん談会まとめ

案件番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況
1	本梅町	<p>移動手段について</p> <p>本梅町にはまだ移動サービスについての組織がなく、車を利用できない人は「ふるさとバス」を利用しており、現在の運行形態は2通り。4月に高齢者を対象に、アンケート調査を実施したところ、61名の方からの回答が得られ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の運行形態で良い29名</li> <li>・運行形態を変えて欲しい(マツモト千代川店経由千代川駅行き)28名</li> <li>・その他4名</li> </ul> <p>の結果となりました。両方の考え方を勘案して将来を見据え持続可能な運行ができるよう、バスの小型化、利用者の増加が図れるよう敬老乗車券の利用PR等、検討するので今後とも指導をお願いしたいです。</p>	<p>本梅町をめぐる交通状況としては、ふるさとバス畑野コースが亀岡運動公園まで、畑野千代川コースがJR千代川駅まで運行しておりますが、本梅町で実施いただきましたアンケート結果では、運行形態を変えてほしいという御意見も多数あったということですので、今後経路やダイヤについて、自治会及び京阪京都交通と協議を行い、必要に応じて見直しを検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、運行しているふるさとバス車両についても老朽化が著しい状況ですので、今後更新の際は小型化を含めて検討し、より効率的な運行につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>自治会におかれましても、住民の皆様への周知や利用促進にお取組いただき、利用者数を今以上に増やすことで、今後も持続可能な公共交通として、運行を維持できるよう御協力をお願い申し上げます。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他
		<p>【質問等】</p> <p>岡山市では採算が取れないところでは公設民営のかたちで公共交通を設けています。</p> <p>車両は大型乗用車を利用すれば2種免許が必要にはなるが、ドライバーの確保もある程度容易になります。</p> <p>こういった事例を参考にして協議できないかと考えています。</p> <p>昨年11月に京都で縁があった国交省の方と話し、公共交通を持続可能にするためには抜本的な改革・対策が必要と感じました。その話の中に岡山モデルがありました。</p>	<p>朝晩に利用者が集中し、昼間の利用がかなり少ない現状の状況を考慮すると便を今以上に増やすのは難しいと思われます。</p> <p>そこで、現在いくつかの町で取り組んでもらっている自治会での地域主体型交通を西部地区全体で行ってはどうかと考えています。</p> <p>これは車両は亀岡市が保険をつけてリースをして、自治会で運行してもらっているものです。</p> <p>朝晩はバスの運行、昼間は地域交通を利用することで個人宅への送迎、病院、スーパーなどより細かいニーズに答えることができるのではないのでしょうか。</p> <p>運用面についても、本梅小学校跡地に指令センターを設置し、利用者には前日に電話予約をしていただきます。AIを利用することで効率的なルート選定を行い、運転手は報酬が発生します。その上で安価でデマンド交通を構築できればと考えています。</p> <p>亀岡市のほかの地域でも取り組んでいけたらと考えており、まず西部地域がモデルとなっていけないのでしょうか。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他
		<p>【質問等】</p> <p>畑野町で試験的に行われており、利用者がある程度いるということ、例えば南丹病院(中部総合医療センター)に行く場合は公共交通よりは利用料は安くなるという聞いています。</p> <p>畑野町では運転手が18人登録されているそうだが、本梅町でどれだけ確保できるのか不明で、運営費の補助金が2年後には30%減少するということであり、今後の継続性については不透明です。</p> <p>今後、西部4町でも検討していきたいと思えます。</p>	<p>車両は市が提供しているため、運営費の中での人件費、ガソリン代のうち30%を利用料金のうちから払ってもらうもので、補助金の減額を補うのはそう難しいものではないと想定しています。</p> <p>運転手については必ずしもその地域の人間である必要はないので、地域の内外で連携いただき、また、地域の人達の副業として捉えていただき、仕事の空いた時間などを活用していただけたらと考えています。</p> <p>そういった地域の協力体制の構築ができれば運営費の70%を市が、30%を地元が負担する形で運営していけないか、まずは検討していただきたいです。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他

R7地域こん談会まとめ

2	本梅町	<p>緊急ヘリ(ドクターヘリ)離着陸場の設置要望について ドクターヘリは、原則としてあらかじめ設定された離着陸場に消防機関の散水、誘導によって離着陸が行われ活動されており、現在西部地区には4箇所(現状3箇所)の緊急離着陸場が設置されています。</p> <p>ヘリ要請時は、消防隊の離着陸場への到着時間及び散水を完了するまで一定時間を要することから、一刻を争う事態の中でヘリを上空待機させ、消防隊による散水後に着陸し活動しており、これらの事を解消するため、離着陸場に散水することなく、容易にドクターヘリが着陸できるアスファルト舗装された緊急ヘリ離着陸場の設置を要望します。</p>	<p>現在、亀岡市内におけるドクターヘリのランデブーポイントとしては、31箇所の既存施設を登録して運用いただいています。</p> <p>令和8年4月1日の運用を目標に旧本梅小学校内に亀岡消防署西部救急ステーションを整備する計画もあり、ご要望いただいているとおり、一刻を争う事態への備えとしてアスファルト舗装されたヘリ離着陸場があることは有用であると考えます。</p> <p>しかし、市が緊急ヘリの離着陸場としてだけで整備することは、難しいと考えております。つきましては、例えば、地元自治会の臨時駐車場として整備いただければ、市としてドクターヘリのランデブーポイントとして登録いただくよう亀岡消防署に要請してまいりたいと考えます。</p>	総務部長	⑤困難
			用地の提供の準備はあるのですか。	市長 (総務部長)	—
		用地の所有者からは提供の意思を確認しています。	芝張りなどでの利用はできないですか。 また、常時の使用ができるかたちでの整備は難しいでしょうか。	市長 (総務部長)	—
		<p>基本的にはアスファルトでの舗装が望ましいと思います。 芝生でも着陸できないことはないが、ダウンウォッシュで痛む可能性があります。 駐車場との兼用は普段車を止められてしまうと、緊急時の利用に支障をきたします。 大阪大学病院からのヘリは10分程度で到着するとのことであり、グラウンドなどに着陸する場合はそれまでに消防隊が散水する必要があるため、アスファルト舗装の専用ヘリ離着陸場を求めています。</p>	予定地の面積はどのくらいですか。	市長 (総務部長)	—
		<p>600坪程度あると聞いています。</p> <p>ドクターヘリの諸元について、全長10~13m、重さ1.5~3t。 周りに障害物がない等様々な条件があるが、予定地の25m×25m程度のアスファルト舗装があればドクターヘリだけで無く災害用ヘリも利用可能になり、災害時の対応もできます。 接道もしており、救急隊の進入も問題なく行えます。</p>	諸条件については京都府に確認します。 年に何度も利用するものでもないの、普段はどのように活用するか含めて検討する必要があります。	市長 (総務部長)	⑤困難

R7地域こん談会まとめ

<p>3</p>	<p>本梅町</p>	<p>持続可能な農業について          本梅町においても農業従事者の高齢化・後継者がいない・担い手がない・機械肥料代が高い割にコメの買取価格が安い・有害鳥獣の被害等、安定した収入が見込めない等の理由により減少しており、地域計画による5年先は見通せても、10年先は非常に厳しい。本梅町も移住特区に指定されていますが、新規就農者が希望されても家がありません。          令和7年度もコメの買取価格は上がりそうなので、生産者にとっては期待が持てるがその先は不透明です。耕作放棄地を発生させない為にも、若い担い手の確保、農業専従者が安定した生活が営め、農業に希望が持てるような行政と連携した取り組みが必要と考えているので、有機農業に加えて、既存農家の支援もお願いしたいです。          例えば新規就農者を亀岡市で職員として採用して担い手の公務員化も一つの手段ではないかと考えています。</p>	<p>地域農業において高齢化の進行や後継者不足等による事業継承、また、生産資材の高騰による収益性の悪化、有害鳥獣被害は全国的な問題であり、農業全体の持続性に直結する喫緊の課題であると認識しています。他の地域からも要望を受けています。          そのような中で、本梅町において現在進められている国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」本梅工区が完成間近であり、営農にとって非常に前向きな動きになり、今後の営農活動の大きな土台となるものと考えております。ほ場整備により省力化が図れ、高収益農作物や生産性の向上、新たなブランド作物導入の可能性など、多様な展開が見込まれます。このほ場整備が地域の農業者や新規就農者にとって魅力ある営農環境づくりの一助となるよう、市としても伴走支援に努めてまいります。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>
			<p>令和7年産の米価動向に価格安定の明るさが見えてきていますが、中長期的な農業の維持には、担い手の確保と定住の促進が不可欠であると考えています。本梅町が京都府移住促進条例に基づく移住促進特別区域に指定されていることを踏まえて、就農希望者が地域に根付きやすくなるよう、空き家の掘り起こしや利活用の促進、移住・定住支援の強化などについて、関係部局とも連携を図ってまいります。          今後さらなる新規就農者の確保や、既存農家の支援に向けて、京都府、JA、京都府農業会議などの関係機関・団体と連携し、国や府の制度を積極的に活用するとともに、持続可能な農業の実現に向けて、取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>
		<p>【質問等】          今の農業の現状は平松はほ場整備終了し実質2名が営農しているが後継者はありません。おそらく本梅町では他の地域も同じ現状かと思えます。          今は農家組合で組織としてなんとか農業を行っているが、その組織を大きくすることに市も積極的に動いてもらい、状況によっては西部4町でリードしてもらいたいです。          法人化等の様々なやり方があるだろうが、市に主導・提案してもらわないとなかなか単独で動けないと思えます。</p>	<p>2名は、どのくらい耕作されているのでしょうか。</p>	<p>市長 (産業観光部長)</p>	<p>⑥その他</p>
	<p>16町の耕作をされています。</p>		<p>先ほどの地域交通の話と同様で、地域間で連携して広く担い手を作っていくことや、圃場整備事業の完成にあわせて機械等の大型化によりコスト削減が必要となってきます。          行政が請け負うことは分らないが、亀岡市で今年立ち上げる予定の地域商社で農業にかかわっていくことは可能ではないかと考えています。商社はふるさと納税の返礼品として地域の課題となるシカやイノシシを商品化する、有機農業を行っている農業者と協力し6次産業化して、給食用の有機食材に変えていく、そういったことを目的としています。          本当に担い手がないということであれば地域商社として人を雇って農業をしていくことは出来ないことではないと思えます。          会社として農業を行い、休みや給料があるとなれば人材の確保もしやすくなり、農産物の利用についても多様性が生まれるのではないのでしょうか。(例:有機米をパックご飯にして商品化)          また、民間の建設業者等が農業に参入する動きも活発化しており、そういった可能性にも目を向けてもらいたいと思えます。          農地が荒廃すれば災害につながったり、有害鳥獣の巣になることも考えられます。そうならないように市としても体制づくりに協力していきたいと思えます。</p>	<p>市長 (産業観光部長)</p>	<p>⑥その他</p>

R7地域こん談会まとめ

		西部だけでなく亀岡市全体として考える必要がある問題だと思 います。	どれだけ投資をし、機械を活用するか、採算を取れるように行って いく中で、持続性を見据えて体制 づくりをする必要があります。	市長 (産業観光部長)	⑥その他
		地域計画は、5年先を見て作成しています。 5年先まではどの地域でも何とか維持出来るものとして いると思われ ます どうにか耕作放棄地をなくしたいとの思いで計画を立てて いま す。 中野平松井手はほ場整備が終わり営業を行っています。 個人農家もいるため、兼業農家とどう折り合いをつけるか考 えて いく必要があります。 新規就農者には手厚い支援があるが、既存農家への跡継ぎに 対 しては支援が薄いです。そんな中でなんとか農業を続けよう と しています。小規模の農家を守るような仕組みが必要だと思 っ ています。 組織化を進めたら良いのでは、という話ではありますが、そ れ は当然正しい意見だとは思いますが、組織内での跡継ぎがい な い状況が生まれると思います。	おっしゃる通り亀岡市全体で同じ状況で、5年後は見える が その先は難しいという話はよく聞きます。 そこに対して公的に何が出来るか検討していく必要があ り ます。 亀岡の魅力は1次産業であると考えているので、これが崩 壊 してしまうと地域の魅力が失われてしまうと思っ て います。 今、山地酪農をしたい、との話が亀岡市にきています。 本 梅西加舎の山で山地酪農を行えばバッファゾーンと機能 し て鳥獣も寄りづらくなり、鳥獣被害への対策にこう言っ た 手段もあるのではないかと考えています。 そのような話も頭に置いてもらい、こういったことが出来 る と地域の課題解決に繋がることもあると思 い ます。	市長 (産業観光部長)	⑥その他
		バッファゾーンは少し前から話が出ていたが、数年前から 言 われなくなったのは何故ですか。 大規模な認定農業者には支援が手厚いが、個々でやって い る小規模な認定農業者には支援が薄い。そこを改善して ほ しいです。	現状、国は大型農業拡大には補助金を出すのが個々には 出 しません。そこで亀岡市独自の制度で個人経営農業者 に も補助を行っています。 ご指摘のとおり亀岡で大規模にやっているところもある が 、小規模でやっている方も多く、そういう所も守って い かなければならないと思っています。	市長 (産業観光部長)	⑥その他
4	本梅町	街路灯の設置について 国道477号線、育親学園前から南の方向、本梅町平松 ま での区間には街路灯がありません。 歩道は、育親学園の通学路となっており、その間の道 路 には住居も無く、夜、車が通行しなければ暗闇の状 態 です。 防犯対策、安全対策として街路灯の設置を要望しま す。	公衆街路灯の新設につきましては、各自治会から毎年 多 くの設置要望をいただいております。小中学校の通 学 路や公道を最優先として順次設置対応しているところ で す。 国道477号の育親学園から本梅町平松までの区間につ い ては、京都府の管理する道路で、歩道側に電柱も 無 いことから、早期の設置は困難ですが、京都府南丹土 木 事務所等の関係機関と協議を行い、事業実施に向け て 検討してまいりたいと考えております。 歩道側に電柱はないが東側にはございまして、そ ち らに1ランク明るい防犯灯を設置し、通常10Wの照 明 を20Wにすることで、歩道と車道の全体を明るくす る ということも他の場所で検討しているところでござ い ます。 ただ電気代が倍になってしまいますので自治会負担は 大 きくなりますがどのくらい電気代が上がるか、また、 事 業の実施スピードは東側の既設電柱に設置するほう が 早くできると思いますので、その点は相談させて い ただきたいと思っております。	まちづくり推進部長	②実施予定
		【質問等】 LEDでも倍になりますか。	LEDをつかい、亀岡市の1/2補助を考慮した上で自治 会 負担1本あたり936円が倍になると思われます。 関西電力からNTTに占用申請を出し、京都府へは協 議 をして設置することになります。 事業費は歩道側に50mピッチで照明を設置すると支 柱 は25mピッチで設置することになりますので、1km で 大体1600万円程度かかると思われます。国道反対 側 の既存電柱を使わせてもらうと150万程度に低減 で きると思われます。 電気代がどの程度になるかを試算させていただいてど ち らの案とするか相談させていただきたいと思 い ます。 設置は市で行うため、全額市が負担することになり ま す。別路線(府道亀岡園部線旧上下水道部前)で同 様 の事業検討しておりますので、完了しましたら照度 を 測定しましてその結果を併せてご報告させてもら い たいと思っております。	まちづくり推進部長	①実施

R7地域こん談会まとめ

5-1	本梅町	<p>通学路の安全対策について 市道中野亀岡線は、育親学園の通学路となっており、昨年7月グリーンベルトを設置してもらい、道路の両脇には農地への転落防止のための、ガードレールが設置されている。歩行者安全対策としては、グリーンベルトと車道の境に、ガードレールの設置が望ましいと考えるが、道幅を考慮すると厳しいのではないかと考える。昨年全国各地で、通学の列に車が突っ込む事故が起きているので、何か良い安全対策を講じてもらうよう切望する。</p>	<p>教育委員会の役割としましては、登下校時をはじめとする児童生徒への交通安全に対する指導徹底や安全確保は当然として、通学路の危険個所の把握に努め、道路の安全対策を実施する道路当局との連携を図ることとしているところです。 市道中野亀岡線については、育親学園開校前の令和5年度に、先程の一次機関、二次機関との合同点検を行い、歩道が狭く車がスピードを落とさず走行するということから、対策必要箇所として亀岡市通学路等交通安全対策プログラムに盛り込んだところでございます。対策としては、ドライバーに通学路であることを視覚的に認識させ、速度抑制や歩行者との接触事故防止を目的とし、令和6年度にグリーンベルトを設置したところであります。 当該道路につきましては、一定対策済とはなっておりますが、再度、合同点検を行うなど、より安全性を高められる対応ができないかを検討し、結果により、再度、亀岡市通学路等交通安全対策プログラムに盛り込み、道路管理者と連携し対策を図ってまいりたいと考えています。 また、児童、生徒への安全指導を含めて改めて行っていきたいと考えております。</p>	教育部長	③検討
5-2	本梅町		<p>市道中野亀岡線の当該区間については、片側1車線の歩道のない構造となっており、路肩が狭いことから、歩車道境界にガードパイプを設置した場合、歩行空間の確保が困難な状況であります。通学路の安全対策として、路肩のカラー舗装に加え、路面標示による速度抑制等の対策について、交通状況を踏まえ、亀岡警察署等、関係機関と協議を行い、更なる安全対策を検討してまいりたいと考えております。 もしくは、交通量が少ないようであれば、センターラインをなくし、3.0m+3.0mからセンターライン無しの合計5.0mにすれば1.5m程度の歩行空間を確保でき、ガードパイプも設置できると考えております。 ただし、警察との公安協議に半年程度はかかると思いますが、地元沿線の方の了承も必要ですのでまたご相談をさせていただきたいと思っております。</p>	まちづくり推進部長	③検討
		<p>【質問等】 この道はトラックヤードが隣接しており、トラックが通ります。車線減少は抵抗があると思えます。</p>	<p>土地を無償で提供いただければ市で歩道を設置することはできます。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	③検討
		<p>無償提供が農地を減らすのであれば反対です。</p>	<p>あくまで提案の一つであります。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	③検討
		<p>477号から大型車両が入ってきます。</p>	<p>路肩からなら6m程度あり、5mは確保出来ると思います。 狭くてもガードパイプが出来ますので、現地で立ち会い確認をしたいと思います。</p>	まちづくり推進部長	③検討
		<p>通行する人は、通学では10人程度だが、休日コンビニに行くため通行はあります。高齢者も通行します。</p>	<p>現地で一度立ち会っていただき、不都合な道にならないよう対処したいと思います。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	③検討
6	本梅町	<p>カーブミラーに設置について 本梅町西加舎前ヶ芝地内、国道477号線への接続している市道(的場前ヶ芝線)の地点です。T字路になっていますがカーブミラーが設置されていません。 国道は能勢方面からは、下りのカーブとなり交通量も多くスピードも出ています。市道は、急な登り勾配で見通しが悪く、危険なため、至急カーブミラーの設置を要望いたします。実際に現地を確認してもらいたいです。</p>	<p>交通安全施設については市内各所から数多くの要望をいただいており、一度に実施することが難しいことから、車両及び歩行者の通行に危険があるなど緊急性の高い箇所のうち、自治会で優先順位が高い箇所から実施していきたくと考えております。 当該箇所については、国道477号の道路敷への設置となり、また、看板等もあることから、京都南丹土木事務所と設置の可否について協議を行い検討してまいりたいと考えております。</p>	まちづくり推進部長	②実施予定
		<p>【質問等】 大阪から来ると道が狭く民家隣接しています。能勢町に入ると30km/h担っているところもあり、近隣の騒音が大きく、路面の改修も要望しました。将来的には市道の新規接道もしてもらうこととなり交通量の緩和も期待できますが、40km/hから30km/hに制限速度を下げ方策はないでしょうか。</p>	<p>速度規制は公安委員会管理であり、亀岡警察署を通じて年1回あります府民協働型インフラ保全事業にて40km/hから30km/hに変更する要望を出していただきますようお願いいたします。 ただし、センターラインのある2車線で30km/hは困難と思われるます。</p>	まちづくり推進部長	⑤困難
		<p>移動式オービス等を定期的に設置してもらう、もしくは、速度取り締まり路線の明示により速度抑制啓発になるのではないのでしょうか。</p>	<p>抑止力になるような啓発を実施するののも一つと思います。 空コンテナを積んだ車の騒音について苦情をうかがったこともございます。 国道であり簡単にいかないが、啓発等自主的にできる対応もございますので検討していきたく思います。</p>	市長 (総務部長)	③検討
			<p>例えば路面標示などの速度抑制対策は道路管理者である京都府で実施できますので、府民協働型インフラ保全事業の2次募集が秋ごろにありますので、そちらでご提案をお願いいたします。 警察へのオービスの設置や規制速度の変更などは春に警察への府民協働型インフラ保全事業の公募がありますのでそちらでご提案をお願いいたします。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他

R7地域こん談会まとめ

7	本梅町	水路の付け替えについて 市道(的場前ヶ芝線)の北側には20cmの側溝がありますが狭く、大雨時には溢れる状態です。南側には既存の水路がありますが、暗渠と高低差があり管理がやりにくく、市道に沿って水路を新設して頂きたいと要望致します。 用地については、所有者も協力的です。	道路維持修繕工事の要望につきまして、市内各所から数多くの要望をいただいております。車両や歩行者の通行に危険がある箇所や、側溝断面が著しく不足している箇所などのうち、自治会からの優先順位が高い所より順次実施しております。 当該箇所については、大雨時の状況も確認する中で、側溝整備の緊急性を判断したいと考えております。 自治会としてこの箇所が優先順位が高いという認識でよろしいでしょうか。 いつになるかはお約束できませんができるだけ早期に前向きに検討します。	まちづくり推進部長	③検討
		【質問等】 南側からきている側溝が途中から道路を横断して北につながっているため、そこでもう水がはききれない。 現場の側溝形態を見てもらいたい。	雨の日の状況も確認させていただきます。	まちづくり推進部長	③検討
その他意見等	本梅町	忠魂碑の草刈りを地元でしているが2tトラックいっぱい出てくるが、個人の土地で処分させてもらっています。 日時が分かることであり、市でバッカー車にて回収してもらえないでしょうか。	市で草木を受け取ることは協力できると思うが、バッカー車での回収は難しいのではないかと思います。 一度環境部局にも確認をします。	市長 (環境先進都市推進部長)	①実施
その他意見等	本梅町	2024年には森林環境税1000円/人を納めています。 森林環境税として国から市に交付されていると思うが、森林環境税を特定の場所での災害防止や森林整備として使用してもらいたい、という要望を挙げて良いでしょうか。	森林環境税と税は、本梅町の防災対策ということではなく、山の維持整備に使用する事業となっております。 本梅町では、東加舎区、井手区の約31haにて人工林の整備をさせてもらうことに使用しております。 使用用途は森林整備、森林の担い手の人材育成、木材利用の普及啓発の3つに限られており、防災対策、治山事業は大規模、計画的な事業となるので、京都府と協議をし、自治会の要望を聞いていきたいと思っております。	産業観光部長	⑥その他
その他意見等	本梅町	育親学園のクラブ活動は本梅小で行っています。また、土日の遊び場所としても利用しています。 ここ最近では気温が暑すぎて体育館を使用できず、扇風機等は入れてもらっているが、今後は体育館にも災害対策の1つとして検討してもらいたいです。	体育館の空調についてはすぐには対応できませんが今後計画を立てて取り組みたいと考えております。	教育部長	③検討
その他意見等	本梅町		育親学園の体育館には市内で最初に体育館の空調整備を行います。 その後、他の小中学校でも空調を整備する計画としておりますのでご理解をお願いします。	市長 (教育部長)	②実施予定
その他意見等	本梅町	子どもたちが田植え体験等出来ているのは、うれしいことです。 しかし育親学園の階段を下がって鹿が入ってきます。 地元で柵を設置すると補助もないので材料費を抑えるため錆びやすい部材を使用することになります。 教育委員会(教育総務課)に柵の設置を要望しました。 工事中であっても鹿、イノシシ等出るので、新しい学校でもあり、柵を立ててもらったほうが良いのではないのでしょうか。	有害鳥獣の防護柵設置事業というものがあり、集落営農で対応しようとするればこの事業を利用していただければよいと思いますが、新規就農など、個人単位でも対応できるような国の事業とは違う事業を検討しているところです。	産業観光部長	①実施
その他意見等	本梅町		学校周辺の森を活用して授業や実習活動の場所にしていこうと検討しているところです。 どこかで鹿等を排除できる様な対応は必要だと考えています。 階段を広げる計画もありますので対応をしたいと考えています。	市長 (教育部長)	③検討